



福島県復興祈念公園

Fukushima March 11 Memorial Park

公園内施設利用時間

管理棟

開館時間：9:00～17:00
休館日：毎週火曜日
*火曜日が祝日または11日の場合は翌日休館
年末年始(12/29～1/3)

国営追悼・祈念施設

開館時間：9:00～17:00
(最終入館16:30)
休館日：毎週火曜日
*火曜日が祝日または11日の場合は翌日休館
年末年始(12/29～1/3)
入館料：無料



発行:

福島県
国土交通省東北地方整備局
東北国営公園事務所

所在地

福島県復興祈念公園
福島県双葉郡
双葉町大字中野地内
浪江町大字両竹地内 外

国営追悼・祈念施設

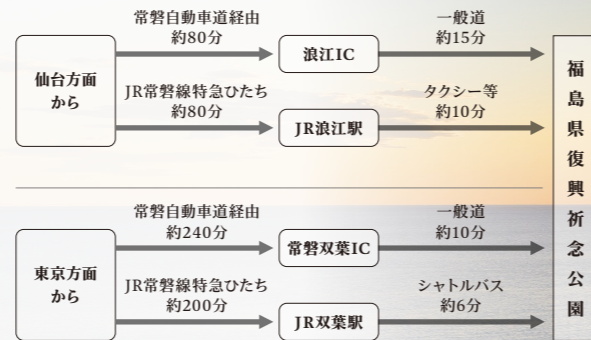
福島県双葉郡
双葉町大字中浜地内
浪江町大字両竹地内 外

お問い合わせ先

福島県復興祈念公園について
福島県 相双建設事務所
〒975-0031 福島県南相馬市原町区
錦町一丁目30番地
TEL.0244-26-1194
FAX.0244-26-1197

国営追悼・祈念施設について

国土交通省東北地方整備局
東北国営公園事務所
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町
大字小野字二本松53-9
TEL.0224-84-6211
FAX.0224-84-6214



福島県復興祈念公園

Fukushima
March 11
Memorial
Park

福島県復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承、さらには復興の歩みを国内外に向け発信し続けることを目的に、福島県と国との連携のもと整備した公園です。

2011年3月11日14時46分に発生した、日本国内観測史上最大マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震は、その後発生した津波とともに、主に太平洋沿岸部、特に岩手、宮城、福島の3県に甚大な被害をもたらしました。加えて福島県では、東京電力福島第一原子力発電所において極めて深刻な事故も発生しました。地震、津波、原子力災害、風評被害という複合災害からの復興の道りはまだ途上であり、その歩みは今も続いています。

福島県復興祈念公園は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、これからも続く復興の歩みと協調しつつ、その姿を国内外に発信し続けることを目的に、福島県と国との連携のもと、基本理念に基づき整備した公園です。変わらぬ追悼と鎮魂、記憶と教訓の伝承の意志。変わり続ける復興の姿。その両者を受け止め発信することを、この公園は目指しています。

いのち
よすが
生命をいたみ、事実をつたえ、縁をつなぎ、息吹よみがえる



公園内のエリア



多目的広場

復興に関するイベントをはじめ、様々な活動ができる約3haの芝生広場が広がります。



中野地区
集落

地震や津波による被災の後、原子力発電所事故の影響により長期避難を余儀なくされた集落の面影が遺されています。



さくらの丘

さくらの丘には、オオシマザクラをはじめとした桜の木が植栽されています。



だんご山

この場所はその特徴的な見た目から、地域の方々に「だんご山」と呼ばれていました。



震源などの災害の発端となった方向、公園周辺の震災遺構、復興の進んでいくまちや水田の姿などを望める丘と、丘の内部には、心を静め、震災



両竹(もろたけ)
地区集落

震災前、集落にあった家屋等の位置を盛土で示すとともに、花や緑からなる新たな風景の創生を目指し、多くの方々と協働で植栽活動を行っています。



国営
追悼・祈念
施設

での出来事に思いを馳せる静謐(せいひつ)な祈りの空間があります。国営追悼・祈念施設へは、伝承館から橋を渡って歩いて行くことができます。



水辺の広場

震災の地盤沈下や、その後の冠水により生じた湿地を中心に自然が再生する姿が見られます。



公園内の施設や伝承資源

施設

- 1 管理棟
公園のインフォメーション(管理事務所)のほか、休憩などにも利用できます。
- 2 献花台
国営追悼・祈念施設の丘の中腹に、海を望む献花台があります。

伝承資源

- 3 増田橋
中野地区と両竹地区をつなぐ橋からは、中野地区集落の面影が確認できます。
- 4 舗装の損壊箇所
激しい津波の勢いなどにより損傷した道路舗装が確認できます。

公園外の施設や伝承資源

施設

- 5 東日本大震災・原子力災害伝承館
福島における複合災害の実態や、復興に向けた歩みを伝承する施設です。
- 6 双葉町産業交流センター
フードコート、コンビニ、土産物店、会議室などがある複合施設です。

伝承資源

- 7 マリーンハウスふたば
震災時、大津波が押し寄せましたが、地域の方が3階に避難し助かりました。(※現在立ち入り禁止)
- 8 諏訪(すわ)神社
震災当日、地域の方々が神社の境内に避難し一夜を過ごしました。
- 9 震災遺構 浪江町立 請戸(うけど)小学校
津波などにより被災した校舎を震災遺構として一般公開しています。